

# 検討会の進め方

## 背景

- 近年、災害の多様化・大規模化に伴い、消防団の役割が多様化しており、更に今後、南海トラフ地震、首都直下地震等の大規模災害の発生が危惧されているところ。
- 一方で、消防団員数は平成2年には100万人を割り、以降も年々減少している。
- 多様化する消防団の役割を踏まえ、特に大規模災害時のマンパワー確保等のために必要な消防団員のあり方や多様な人材の確保方策等について検討する。

## 主な検討事項

### 1. 大規模災害等における消防団の役割の多様化への対応

特に大規模災害時に消防団に求められる役割を踏まえた消防団員のあり方

### 2. 多様な人材の活用

女性・学生、自主防災組織や企業の自衛消防組織の構成員等の活用の検討

### 3. 団員の活動環境の整備

代表的な退団事由、その他課題への対応の検討 等

## 調査内容

### 消防団の実態把握（市町村に対するアンケート）

- ・ 消防団の活動実態
- ・ 多様な住民の参加実態
- ・ 退団の実態
- ・ 課題 等

### 【今後のスケジュール】

- ・ 10月 消防団の現状、アンケート結果、論点(案) 等
- ・ 11月 課題整理、今後の方策の検討 等
- ・ 12月 とりまとめ